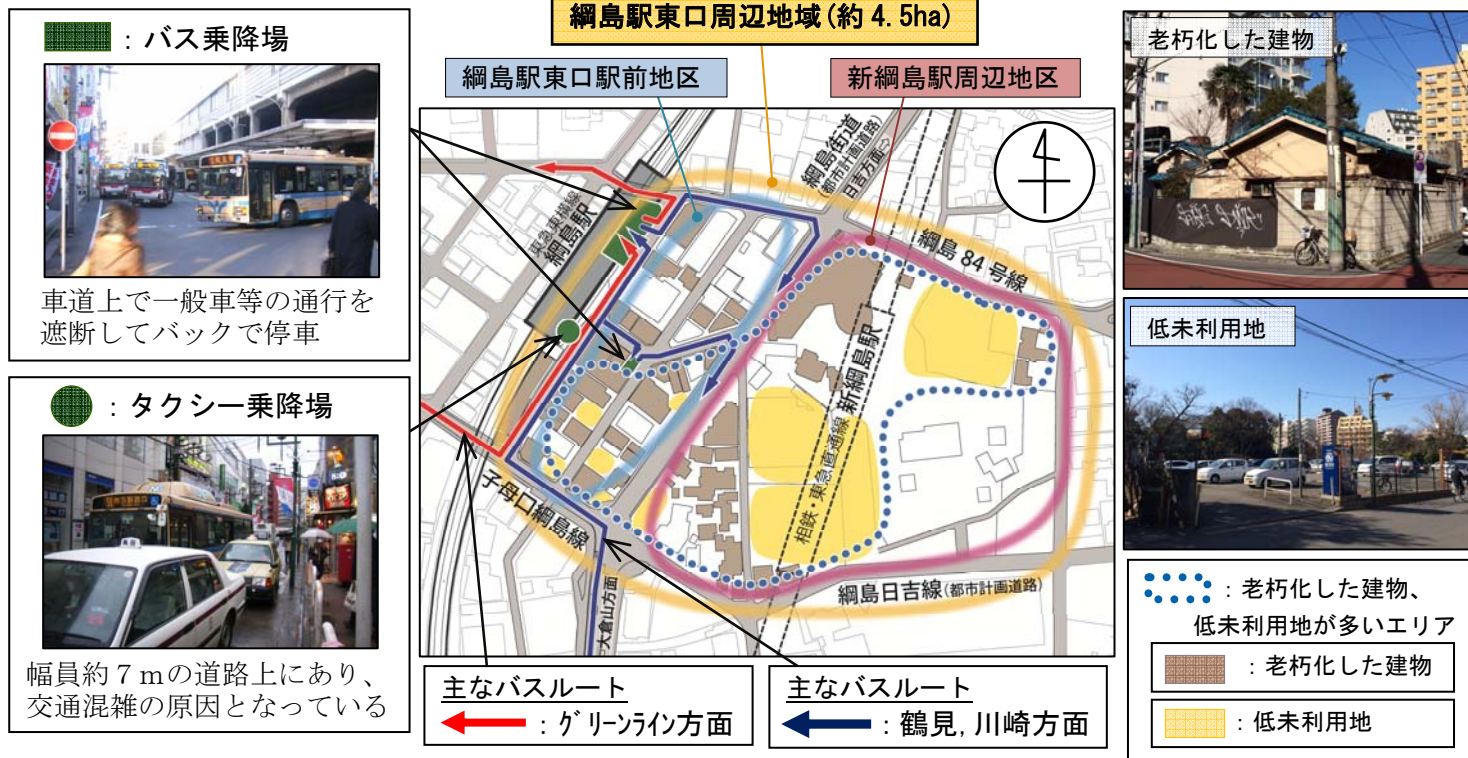


# 新網島駅周辺地区のまちづくりの進捗状況について

網島駅東口周辺地域（約 4.5ha）は、東急東横線沿線において有数のターミナル拠点でありながら、「交通広場の機能が未整備」であり、「慢性的な交通混雑」や「自転車駐車場の不足」など、都市基盤施設の整備改善が不可欠となっており、また、建物の老朽化が進み、低未利用地も多いなど、様々な課題を抱えている地域となっています。

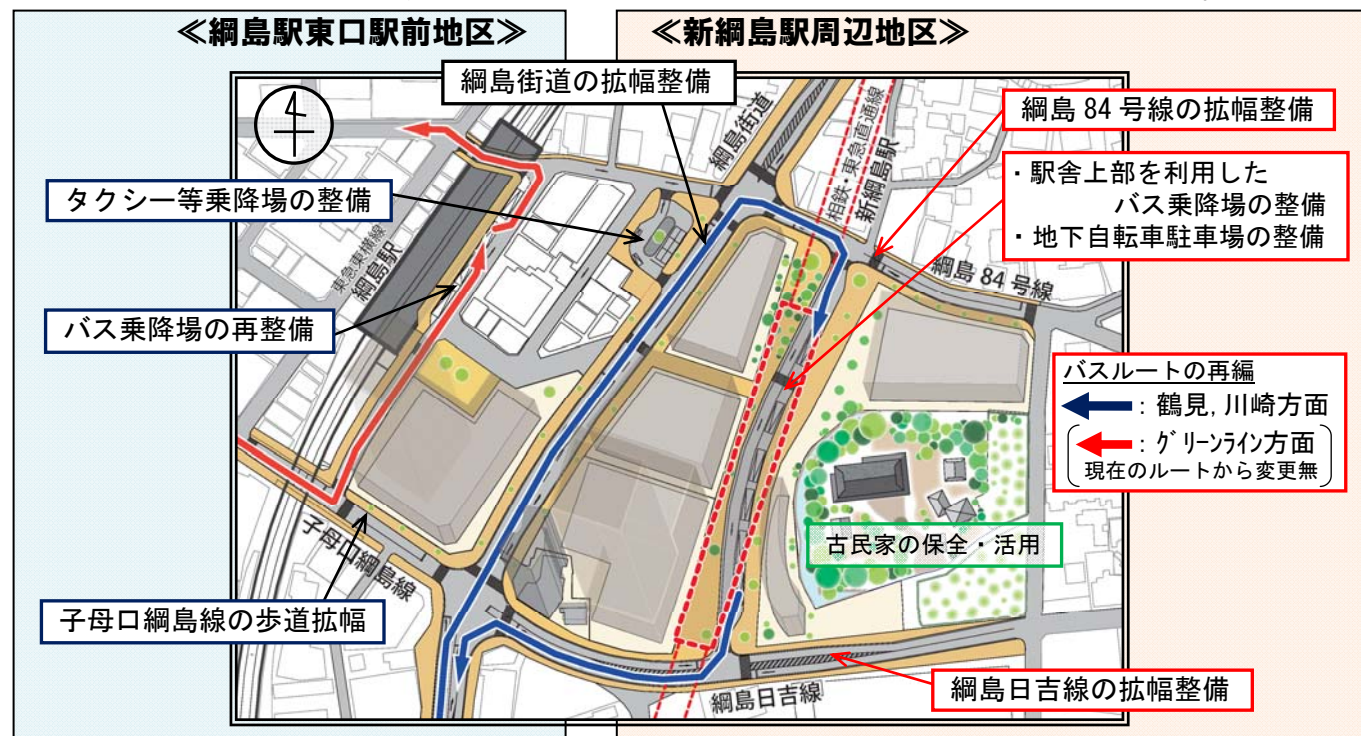
こうした課題の解決に向け、昭和 58 年度から地元の方々とまちづくりの検討を進めてきましたが、相鉄・東急直通線の（仮称）新網島駅の整備を契機に、将来のまちづくりの方向性がまとまり、この度、全体区域のうち、新網島駅周辺地区において事業実施に向けた説明会等を開始することとなりましたので、報告します。

## 1 現在の街の状況



## 2 将来のまちづくりの方向性

相鉄・東急直通線の「新網島駅（地下駅）」の上部空間を活用して、「網島駅東口の駅前」に集中している「バスの乗降場の機能」を移転するとともに、「自転車駐車場」を整備します。また、「網島街道」などの「東口周辺の道路を拡幅整備」し、自動車交通の混雑解消や歩行者の安全性を確保するとともに、様々な事業手法を活用して土地利用の促進を図ります。



## 3 新網島駅周辺地区における区画整理事業と再開発事業の一体的施行の実施

### (1) 事業手法

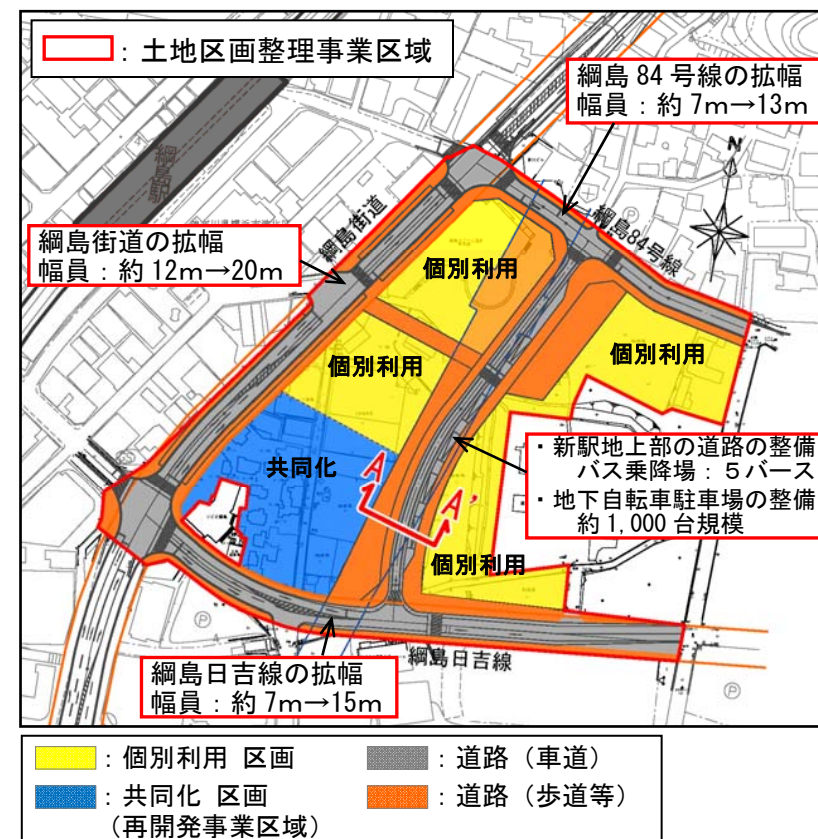
都市基盤施設の整備改善を図るとともに、個別の土地利用や建物の共同化など、地権者毎の将来の土地活用の要望に応えるため、区域全体（約 2.7ha）を「市施行による土地区画整理事業」を実施することとし、区域の一部では、建物の共同化を図るため「組合施行による市街地再開発事業」を実施します。

### (2) 事業の目的

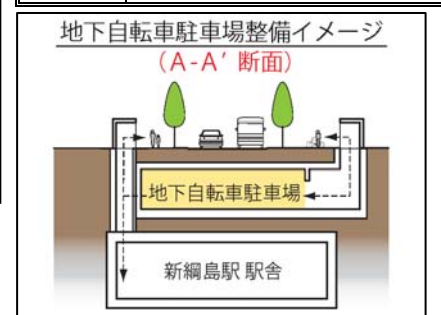
- ア 新駅の地上部に整備する道路にバス乗降場を整備し、網島駅東口の混雑緩和とバス利用者の利便性の向上を図ります。
- イ 未整備となっている都市計画道路の網島街道や網島日吉線及び駅周辺の狭い道路を拡幅整備し、自動車ネットワークと安全で快適な歩行者空間を形成します。
- ウ 新駅と地上部までの地下空間を活用して、地下自転車駐車場を整備し、放置自転車の解消と自転車利用者の利便性の向上を図ります。
- エ 新駅の整備にあわせ、新たに駅前となる立地特性やポテンシャルを生かした土地利用を図ります。

### (3) 事業概要

#### ア 土地区画整理事業の概要



面積	約 2.7ha
施行者	横浜市
公共施設整備	網島街道の拡幅 (幅員 20m) 網島日吉線の拡幅 (幅員 15m) 網島 84 号線の拡幅 (幅員 13m) 新駅地上部の道路の整備 (バス乗降場: 5 バース) 地下自転車駐車場の整備 (約 1,000 台規模)
	宅地整備
事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度
事業費	約 57 億円



#### イ 市街地再開発事業の検討状況

現在、準備組合において、街の賑わいを創出する商業施設、都市型住宅、区民文化センターの整備を前提に、再開発ビル計画案の最終的な調整を進めており、8 月には計画案を取りまとめていく予定です。

## 4 当面の予定

平成 27 年 8 月 土地区画整理事業及び市街地再開発事業の事業者説明会  
 9 月 都市計画決定手続の開始